



9月のほけんだより



心身ともに夏の疲れも出やすい頃です。残暑も長引く予報です。また台風発生・接近のシーズンのため、気圧の変化で気管支が影響を受けやすいお子さんは注意が必要です。月末には朝晩は涼しくなっていくますので、寒暖差で体調を崩さないよう、衣服の調節にも気をつけていきたいですね。

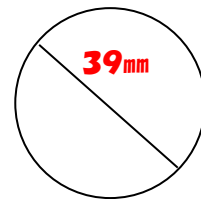


9月9日は救急の日です！家の中の事故を防ぎましょう★

子どもにとって安心して過ごせる家の中は、実は事故の危険が高くなっています。特に命に関わる事故は「窒息」です。0歳児が圧倒的に多いものの、1・2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするためもう一度チェックしてみましょう！

誤飲に注意しましょう！

3歳の子どもの口の大きさは約4cm
これよりも小さなものは子どもの手の届かない所に保管しましょう。例えば、ボタン電池・ナッツ類・たばこ・薬など。身近なもので危険なものはたくさんあります。



子どもの口の大きさは
トイレットペーパーの芯の
直径とほぼ同じ大きさで

覚えておきたい簡単な応急手当て

子どもには「けが」や「思わぬ事故」がつきものです。どんなときでも冷静に対応できるよう、簡単な応急手当てと対処の仕方を覚えておきましょう。

すり傷・切り傷

- ①傷口を流水できれいに洗う。
- ②傷口が大きいときには、ガーゼを当て包帯をするか、ばんそうこうで留める。
- ③時々ガーゼを替える。



指を挟む

- ①患部をすぐ冷やし、曲げたり動かしたりできるか見る。
- ②動かない、はれがひどい、いつまでも痛がるときは、骨折の疑いも。動かさないように静かに冷やしながらか病院へ。

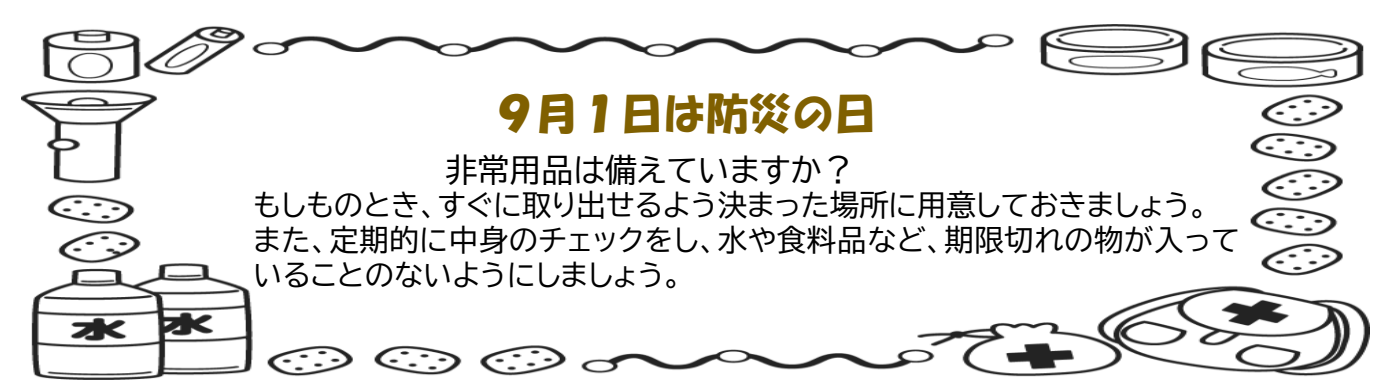
のどに異物を詰まらせる

- ①小さい赤ちゃんは両足首を持って背をたたく。少し大きい子はおなかを抱え、逆さに抱き上げ背中をたたく。
- ②たたいても出ないときは病院へ。呼吸困難のあるときは救急車を手配。



119 救急車を呼ぶときは

- 119 番に電話が通じたら
1. 火事が救急か。
 2. 家の所在地、目標物、電話番号。
 3. どんな状態か(いつ、どこで、だれが、どのようにして、どうなったか)を伝えます。



9月1日は防災の日

非常用品は備えていますか？
もしものとき、すぐに取り出せるよう決まった場所に用意しておきましょう。
また、定期的に中身のチェックをし、水や食料品など、期限切れの物が入っていることのないようにしましょう。

～救急用品を点検しましょう～

この機会にご家庭の救急用品をチェックしてみましょう。古い薬は処分し、新しいものを補充しましょう。

☐ 体温計



☐ ばんそうこう



☐ ピンセット



☐ かゆみ止め



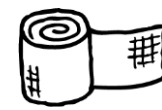
☐ 脱脂綿



☐ 綿棒



☐ 包帯



☐ ガーゼ



☐ はさみ



☐ 湿布薬



☐ 化膿止め



☐ 毛抜き



食中毒を予防しよう！！

まだまだ食中毒が発生しやすくなっています。子ども達の健康を守るためにも、ご家庭でもいつもより衛生的に過ごすように心掛けてください。

予防のポイント

- ①新鮮な食材を使う。調理してから時間が経ったものは食べない。
- ②魚や肉は十分に火を通す。
- ③賞味期限や冷蔵庫を過信しない。
- ④調理前や食事の前、トイレの後にはせっけんで手を洗う。
- ⑤手指に傷がある場合はブドウ球菌に感染しやすいので注意する。

STOP! 食中毒



～お知らせ～

先月、すみれ組・れんげ組・さくら組で鼻の指導を行いました。鼻の役割・鼻を大切にするための約束・鼻をかむ時の注意点・鼻血が出た時の対処法についてお話しました。
また、実際にカレーパウダーの匂いをかいでもらい何の匂いか当ててもらった体験をしたり、鼻をかむ練習として片方の鼻から息をゆっくりと吐き、ティッシュを飛ばす体験をしてもらいました。みんな楽しみながら実践し、お話を聞くことができていました★